

寄生性皮膚疾患用剤
日本薬局方
イ オ ウ

<貯法>

容器：密閉容器

*販売名：イオウ「コザカイ・M」

Sulfur

【禁忌】 次の患者には使用しないこと

本剤に対し過敏症の既往歴のある患者〔症状を悪化させるおそれがある。〕

【組成・性状】

本品 1g 中、日局イオウ 1g を含有する。
本品は淡黄色～黄色の粉末で、におい及び味はない。

【効能・効果】

疥癬、汗疱状白癬、小水疱性斑状白癬、頑癬、頭部浅在性白癬、黄癬、乾癬、瘡瘡、脂漏、慢性湿疹

【用法・用量】

通常、3～10%の軟膏、懸濁液又はローションとして1日1～2回適量を患部に塗布する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

患部が化膿しているなど湿疹、びらんが著しい場合には、あらかじめ適切な処置を行った後使用すること。

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類\頻度	頻度不明
過敏症 ^{注)}	過敏症状
皮膚 ^{注)}	皮膚炎等
長期・大量使用又は高濃度の使用 ^{注)}	皮膚炎

注) このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

3. 適用上の注意

- (1) 長期間使用しても症状の改善が認められない場合には、改めて診断し適切な治療を行うことが望ましい。
- (2) 眼には使用しないこと。

【薬効薬理】

イオウは皮膚表面でも徐々に硫化水素やポリチオン酸特にペンタチオンとなり抗菌作用を現すので、寄生性皮膚疾患に奏効する。また皮膚角化に関係があるといわれる-SH基をS-Sに変えることによって角質軟化作用を呈する。イオウの粒子が細くなるほどイオウの化学変化は促進されるので、コロイドイオウを用いるとき上記の諸作用は特に顕著に現れ、またアルカリ剤と配合すると角質軟化、殺菌、殺虫作用は増強される。硫黄及び硫化物は、疥癬のつくった疥癬隧道 Milb-engang を破壊し、虫体並びに虫卵は死滅する。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：硫黄

化学名：Sulfur

分子式：S

分子量：32.07

性状：淡黄色～黄色の粉末で、におい及び味はない。二硫化炭素に溶けやすく、水、エタノール(95)又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。

【包装】 500g

火気注意 危険物第2類

製造販売元



小堺製薬株式会社

**東京都墨田区両国 4-36-9